

令和 8 年 3 月 6 日
ねづやま夢の学び舎
世田谷区立梅丘中学校
校長 石綿 健一郎
学校関係者評価委員会事務局

令和 7 年度 前年度の改善方策について実行した改善結果

1 重点目標について

○「キャリア・未来デザイン教育」の充実

学級活動や学校行事を始め、教育活動全般を通して生徒の自治的な活動を推奨した。特に学校行事においては、多くの生徒が達成感、充実感を得ることができている。生徒一人一人が社会の担い手として成長していくために、今後も様々な課題と向き合い、何事も正しく判断しようとする姿勢を育み、各自が思い描く未来を実現できる資質・能力を培う教育活動を行う。

○生徒の主体的な学びを推進する授業改善

「せたがや探究的な学び」を基にした授業改善を推進し「教える」学習指導から「主体的に学ぶ」学習指導への移行を推進した。特に「話し合い活動」を充実させ、生徒が互いに学び合う機会を多く設けることができた。引き続き、生徒が自ら学習に取り組み、学んだことを振り返り、次の学びにつなげる学習のサイクルの構築を目指す。

○豊かな心を育む教育の推進

校内特別支援委員会を定期開催し、インクルーシブ教育を推進させることができた。特別の教科道徳を全教員がかかわる中で計画的に実施し、生徒の多様性を尊重すると同時に、一人一人の個性に合わせた教育を推進することができた。

2 学習指導について

○校内研究を通して「せたがや探究的な学び」を軸とした授業改善に努めた。各授業での「話し合い活動の充実」を意識したことで、生徒が主体的、協働的に学習に取り組む様子が見られた。「授業で考えたことを話し合ったり、発表し合ったりする機会がある」という質問項目に対する肯定的評価は 97%と、生徒が自覚的に話し合いを肯定的に受け止めていることも分かった。

○語彙力や読解力を含めた学習の基盤となる言語能力の向上を目的に、読書活動の充実を目指したが、「本を読むのが好きである」という質問項目に対する肯定的評価は 55%にとどまった。図書館司書との連携を図りながら読書活動の充実を目指したい。

○生徒個々の学習状況や課題等の把握に努め、個別最適な学びの充実を図った。定期考査等における合理的配慮の取組を進めることができた。今後も「基礎・基本の定着」を図るとともに、ICTを効果的に活用しながら、「発展的に学習する内容」にも取り組みを進める。

3 生活指導について

- 学校での生活を社会生活の縮図であると意識づけ、正しい判断力と他を思いやる心を、集団生活の基盤となる、公共心・公德心や規範意識のある言動を常に心掛ける生徒の育成に努めた。「思いやり的心や認め合う心をもって友だちや他の人と接している」という質問項目に対する肯定的評価が90%を超えるなど、生徒の生活にも浸透してきている。
- いじめ防止として「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見・早期対応を常に心がけ、生徒が安心して学校生活を送れるよう全校体制で取り組むことができた。

4 キャリア教育について

- 三者面談の際に、生徒による「1分間スピーチ」(キャリア・パスポートを基にした、これまでの成果と課題の発表)を実施するなど、キャリア・パスポートの活用を推進することができた。次年度以降も取り組みを継続し、生徒の自己理解を促すとともに、学校・保護者が協力して生徒の活動を支えられるようにする。
- 学校行事や生徒会活動、部活動等において、異学年交流を含めた構成の異なる集団による行動とコミュニケーションを重視した活動を実施することができた。特に学校行事においては、「学校行事は達成感がある」という質問項目に対する肯定的評価が97%となり、生徒が集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさを認め合っていることが分かった。
- 職場体験等において地域社会と関わり、地域の方々とコミュニケーションをとることで、社会をよりよくしていこうとする意識の醸成を図ることができた。

4 地域連携・広報活動について

- 「朝のあいさつ運動」や「運動会のお手伝い」等のボランティア活動を奨励し、ねづやま夢の学び舎(松原小学校・代田小学校)との連携活動を促進することができた。また、「光明交流」「ふれあい絆フェスタ」等、東京都立光明学園との交流及び共同学習も実施することができた。
- 地域と連携した「避難所運営訓練」や「浴衣着付け体験」等を継続して行うことができた。避難所運営訓練では、事前にHUG体験を行ったことでより充実した体験活動を行うことができた。今後も継続して取り組みを進め、生徒が地域の方々とコミュニケーションをとる機会を増やしていきたい。
- 学校活動を学校だより、学校ホームページ等により保護者、地域に積極的に発信することができた。「学校からの情報提供」に関する保護者、地域の肯定的評価はそれぞれ94%、100%と大会評価を得ることができた。今後も、学校の教育活動、生徒の様子等を発信し、「開かれた学校」づくりに努めたい。